

CASA新聞

発行 株式会社カーザミカワ
岡崎本社 ☎0564-24-2511
岡崎市吹矢町88番地
豊田営業所 ☎0565-28-3891
豊田市豊栄町6丁目1番地

国産合板商況 小幅安も一部で下げムードやや緩和

1月1日に発生した能登半島地震で林ベニヤ産業七尾工場が被災し一時稼働を停止したが、15日に地震前より稼働を抑えて運転を再開した。地震発生後も在庫で出荷に対応するなどして大きな混乱はなかった。また、23日には新潟合板振興第3工場で火災。薄・中厚合板の供給に影響が出る。震災復興の仮設住宅関連では一部の商社や問屋に国産針葉樹合板12ミリの厚で引き合いがあった。今後は仮設住宅向けや応急的な住宅の補修で、構造用や塗装型枠用などの需要が生じる可能性があるが指摘されている。

針葉樹構造用合板（12ミリの厚3×6判）は価格がばらつき、首都圏では前月比20円安（問屋着、枚）で、条件等により下値もある。弱基調が続くが、一部流通では昨秋までと比べ下げムードがやや緩和。昨秋から値下げが続き一服感が漂うほか、仮設や住宅復旧に向けて需給が引き締まるとの予想や、合板工場が地震で被害を受け値下げ交渉を控える動きが出たことも一因と見られる。

名古屋

針葉樹合板は、年明け後も川下側が当用買いの姿勢を維持していることから荷動きに活発さはなく、価格は弱含みで推移している。合板の大口ユーザーであるプレカット工場も新規受注がまとまらず仕事が増えていない状態で、資材の仕入れ意欲は低い。供給側の合板メーカーは生産調整を続けているため荷もたれ感はなく、流通在庫は縮小傾向にある。だが、住宅実需の不振を反映し、川下の手持ち在庫の消化ペースが遅いのがネックとなっている。先行きも不透明感が強く、当面は模様眺めの基調と見られる。

名古屋商況 資材需要伸びず

年明け後も住宅実需に勢いはなく、特に注文住宅は低迷続きで持ち直し気配が感じられない。住宅資材の需要も迫力不足のまま、価格面もインフレを反映する余裕がない状態だ。川下の情勢については「大手ビルダーに比べて大工・工務店が仕事を確保していない」（木材販売店）との話が聞かれる。プレカット工場も全般的に8割可動で推移しており、非住宅関係を除くと好材料が見当たらないまま2月を迎えることになりそうだ。

木材関係は、米松国内挽きは落ち着いてきたものの、今度はR・Wウッドなど欧州材製品に不足感が出てきており、産地の生産減少に伴うラミナ不足、スエズ運河迂回などの要素から先行きの値上がり予想されている。米材輸入製品は流通在庫が少ないが買い急ぎは見られず、価格は保合で推移。国産材は出材減から松柱取り丸太が値上がりしている。

東海4県の昨年11月新設住宅着工戸数は7649戸（前年同月比14.8%減）で4カ月連続の減少。持ち家は2713戸（同15.4%減）で21カ月連続の減少となった。分譲住宅は2203戸（同13.9%減）と2カ月連続の減少で、マンションの不調が目立つ。

2024年問題は46%が知らず

一人親方に実態調査 労災センター共済会

労災センター共済会は、一人親方1000人を対象に、働き方に関する実態調査を行った。その結果、高齢化や人手不足への懸念が強まっており、「業務の効率化」が課題となつていくことが分かった。「働くうえで意識していたこと」について聞いたところ、「自身の健康管理」が54%、「業務の効率化」が33%、「ワークライフバランス」が22%だった。また「働くうえで感じた課題」は「一人親方の高齢化」が47%、「建設業全体で人材が不足していること」が39%、「長時間労働の

改善が出来ていない」が18%だった。なお、この設問に対しての自由回答では「一人親方が現場に入りやすく仕事が少ない」「元請が上がない」「元請のデジタル化に下請がついていけない」なども挙げられている。「2023年を振り返って人手不足を感じる期間があったか」については「かなりあった」が18%、「ややあった」が39%と合わせて57%が人手不足を感じたという結果となった。

輸送費急騰、日本に負担も 欧州材商況

年明けの日本国内は、住宅着工数の落ち込みやプレカット工場の稼働低迷を反映し、木材全般の荷動きは鈍い。欧州材も昨秋からの引き合い急増は一服した。ただ、先々の供給不安を背景に需給は引き締まったままで、相場の強基調も続いている。WウッドとRウッド構造用集成材は、国内産は年末年始の荷動きで7万円台前半（プレカット工場着、立方材）が固まり、サイズによっては7万円台中盤も見られる。輸入完成品も仕入れコストは6万円台後半（同）が中心だが浮き玉は国内産

と同水準で動いている。供給不安の要因は、昨年末から続く船舶の紅海航路回避にある。1月に予定されていた入港が来月にずれ込むなど、入荷遅れの形で影響が出始めている。到着が予定より3週間遅く見通しとなっている。海上輸送費急騰の影響も具体的に現れてきた。航路延長により、もともとのフレイト料金に加えて、1コンテナあたり4000〜10000ドル、立方材あたり8〜20ドル（1コンテナあたり50立方メートル換算）が船会社から要求され

ている模様。早いケースでは2023年12月積み分から加算が始まっており、今のところサプライヤー側が負担する形となっている。ただ、欧州産地は特に23年下半期から収益が悪化しているため、追加の輸送費を負担する余力はないとして、1月下旬に入ると、立方材あたり10ドル程度を目安に輸入元やユーザーなど日本側へも一定程度の負担を求める動きが本格化してきた。

名古屋

欧州材製品は住宅需要低迷のなか、品薄感が強い。契約量の少ないWウッドなど欧州材製品に不足感が出てきており、産地の生産減少に伴うラミナ不足、スエズ運河迂回などの要素から先行きの値上がり予想されている。米材輸入製品は流通在庫が少ないが買い急ぎは見られず、価格は保合で推移。国産材は出材減から松柱取り丸太が値上がりしている。

23年度の民間住宅投資

71.9兆円と予測

建設経済研究所

建設経済研究所と経済調査会経済調査研究所は1月12日、2023年度は前年度比4.6%の71兆9200億円と予測。民間住宅投資は高付加価値化、建設コスト高止まりによって投資額は微増と予測。24年度の投資額も同水準の推移を見込む。

23年度の住宅着工戸数は、建設コストの高止まりで住宅需要が依然抑制されていることから、82.8万戸（前年度比3.9%減）を予測する。うち持家は、4.11月まで減少が続き、12月以降も回復材料が見込めず23.3万戸（同6.2%減）を予測。一方で、投資額は脱炭素やスマート化の影響もあり、17兆1700億円（同1.5%増）と予測した。

24年度の住宅着工戸数は83.0万戸（同0.3%増）、持家は23.2万戸（同0.3%増）と予測。建設コストの上昇が鈍化しつつも続く見通しだが、拡充される国の支援策が一定の需要を支え要因となるため23年度と同水準で推移すると見ている。民間住宅投資は17兆2100億円を予測する。

持ち家減止まらず、木造も在来苦戦

23年の新設住宅着工

2023年の新設住宅着工戸数累計は81万9623戸（前年比4.6%減）で、3年ぶりの前年割れとなった。着工床面積累計は6417万8000平方メートル（同7.0%減）で、2年連続の前年割れで過去最低水準となった22年をさらに下回った。

23年の累計着工戸数81万9623戸は、コロナ禍で大きく下振れした20年累計を4000戸強上回る程度にとどまった。また、23年累計に近い実績は、過去15年を振り返ると、リーマン・ショックの起りとして市場が冷え込んだ09年の約78万8000戸、10年の約81万3000戸にまで遡る。23年は、持ち家と戸建て分譲が年間を通して盛り上がり

22年と堅調だったこともあり、3年ぶりの前年割れだが、21、22年と堅調だったこともあり、286戸（同6.0%減）の戸建て分譲の累計は13万7286戸（同6.0%減）となったことによる。

国産材製品は弱含み 名古屋地区

名古屋地区の国産材素材は材価等を理由に集荷が伸び悩んでおり、長引く住宅需要の低迷から国産材製品は弱含みで推移している。一方、海上輸送環境の悪化などから延着がある外材のWウッド製品は値上がりしている。

国産材素材の初市は、材価等を理由に出品量が前年初市を下回ったところが複数あった。市場では伐り旬のうちに質の良いものを確保する動きが見られるが、製品市況を理由に手当てに慎重な買い方もいる。

若年層の来場率向上、耐震・創エネに関心

総合住宅展示場来場者アンケート2023 住宅生産振興財団

住宅生産振興財団住宅展示協議会は、「総合住宅展示場アンケート2023」をまとめた。展示場来場者の傾向や住宅取得意欲などを調査したもの。来場者に占める若年層の増加や建築予算の増加といった傾向が見られた。耐震や創エネへの関心が高いこと、ZEH採用意向の高まりなども明らかとなった。

展示場来場者の世帯主年代については、若年層（34歳以下）が41.6%（前年比5.6%増）、中年層（35～49歳）が37.2%（同6.0%増）、熟年層（50歳以上）が21.2%（同0.4%増）だった。若年層は22年

で2年連続で減少していたが、今回は20年水準に戻っている。平均世帯年収は852万円となり過去10年で最高を更新した。18年から6年連続の増加。平均建築予算は2850万円（同81万円増）。若年層は2934万円、熟年層は2759万円それぞれ前年から増加。中年層は2805万円でほぼ横ばいだった。

住宅計画実現時期は、「1年以内」が29.8%、「2年以内」が22.7%、2つを合わせると過半数だが、「2年以上先・未定」は40.3%（同3.6%増）で最多だった。契約先として信頼でき

表示説明	値下げ	横ばい	値上げ
市況状況	ラワン薄ベニヤ	ラワン構造用12mm	針葉樹12mm3×6